



# Relief

[リリーフ]

## CONTENTS

- 2020年度「小・中学生『いのち』の作文コンクール」表彰式を開催
  - 2021年度AED訓練器等助成事業の助成先が決定
  - 2021年度公募助成（活動及び研究）の助成先が決定
  - 2020年度第2回いのちのセミナー
- ホームページに「助成先団体の活動紹介」ページを新設
  - ポスター・リーフレット設置箇所のご案内

2021  
APRIL  
Vol. 42



# 2020年度「小・中学生『いのち』の作文コンクール」表彰式を開催

昨年度に引き続き、近畿2府4県に在住・在学の小学生および中学生の皆さんに「いのち」の大切さを考えてもらいたいという思いで「あなたにとっての『いのち』」というテーマで作文を募集しました。

コロナ禍にもかかわらず、昨年度を上回る5,766作品という多くの応募をいただきました。

最終選考委員会による選考の結果、金賞4名・銀賞10名・銅賞16名・優良賞78名が決定しました。

## 表彰式の様子

新型コロナウイルス感染症の影響が日増しに拡大し、多くのコンクール等の表彰式が取りやめになる中、「受賞者に何とか報いる方法はないか」と考え抜いた末、選考委員の助言も得て、1月24日(日)にオンライン会議システムを用いた表彰式を開催いたしました。手探りの中での式となりましたが、金賞・銀賞・銅賞の受賞者とそのご家族や学校関係者、約60名の皆様にご参加いただきました。

表彰式では、受賞者に対し、手渡しの賞状授与こそならなかったものの、理事長から賞名とお名前を心を込めて読上げさせていただきました。

その後、最終選考委員会委員長である作家の重松清氏により、「いのちの力、ことばの力」との演題で受賞者等に対し講話が行われ、また参加した受賞者一人ひとりに対し、作文へのコメントや受賞者本人に対し温かいメッセージを伝えていただきました。画面越しではありましたが、皆さんの喜びはひしひしと伝わってきました。

最後は賞毎に選考委員長及び副委員長とギャラリービューによる記念撮影を行いました。



表彰状読上げの様子



《金賞受賞者》記念画像



《銀賞受賞者》記念画像



《銅賞受賞者》記念画像

## 金賞受賞者コメント



**小学生1・2年生部門**  
大阪市立嶋野小学校  
1年  
丹羽 郁登さん

<受賞コメント>

ありがとうございます。金賞うれしいです。お手紙をもらった時は、ビックリしました。柿の木は30センチくらいの大きさになりました。これからも、大切に育てて実がなればみんなで食べたいです。



**小学生3・4年生部門**  
大阪市立堀川小学校  
4年  
苅部 孝政さん

<受賞コメント>

作文を書いているときは、800文字におさめるのがむずかしかったけど、おさまったときは「やったあ〜」と、思いました。自分の気持ちをよく書けたとは思っていたけど、金賞うれしかったです。作文の中に出てくるカブト虫の「カブキ」もよろこんでくれていると思います。



**小学生5・6年生部門**  
姫路市立津田小学校  
6年  
玉田 智愛さん

<受賞コメント>

このたびは、私の作文を選んでいただきまして、ありがとうございます。3歳の時に病気を発症し、再発、再々発を経験しました。その分、いま生きていることが幸いで、毎日、家族・友だちに会えていることが本当に「キセキなんだなあ〜」と、この作文を書いていてあらためて感じました。誕生日の日に手術だったのは、本当にくやしかったけど、手術後、色んな人からお祝いしてもらったのが本当に嬉しかったです。今も、月に1回の通院をしながら合併症とも闘っていかないとはいけませんが、あきらめずに前を向いて明るく元気に過ごしていきたいです。



**中学生部門**  
奈良県立青翔中学校  
2年  
小林 大悟さん

<受賞コメント>

緊急事態宣言の出ている中、このような表彰式を開催していただき、ありがとうございます。金賞を受賞できて本当に嬉しいです。今回、作文に書いたのは二つりのことです。でも、もしこれが人間の家族だったらどうだろうと僕は思いました。僕が家族を失うだけでなく、僕がいなくなったあとの家族のことも心配になりました。だから僕は、毎日、無事に親の元へ帰ることを目標にしています。みなさんも「いのち」を大切にしましょう。待っている家族のことを考えましょう、事故や病気に、特にコロナウイルスに対して。

## 受賞者一覧 (敬称略)

### ★金賞(4名)

府県	学校名	学年	氏名	題名
大阪府	大阪市立嶋野小学校	小1	丹羽 郁登	ぼくのたいせつないのち
大阪府	大阪市立堀川小学校	小4	苅部 孝政	ぼくのかぶと虫
兵庫県	姫路市立津田小学校	小6	玉田 智愛	私の生きた足跡
奈良県	奈良県立青翔中学校	中2	小林 大悟	命の重さ

### ★銀賞(10名)

府県	学校名	学年	氏名	題名
兵庫県	私立甲南小学校	小2	村松 謙	「いのち」ってなんだろう
和歌山県	私立智辯学園和歌山小学校	小2	川久保 綾乃	わたしにとっての「いのち」
兵庫県	宝塚市立宝塚小学校	小5	武田 奈々	終わらない「いのち」
京都府	京都市立下鴨小学校	小6	田嶋 葵	自分のために生きる
兵庫県	私立小林聖心女子学院中学校	中2	大原 知純	ヘアドネーションをしました!
奈良県	奈良市立富雄南中学校	中2	松谷 周香	自分ができる事
奈良県	河合町立河合第二中学校	中2	伊藤 由真	まみちゃんの夏
和歌山県	有田川町立八幡中学校	中2	今西 美里	後悔
滋賀県	私立近江兄弟社中学校	中3	岡崎 真心	命のストーリー
和歌山県	和歌山県立田辺中学校	中3	染道 琉花	私の自慢のお母さん

### ★銅賞(16名)

府県	学校名	学年	氏名	題名
和歌山県	私立智辯学園和歌山小学校	小2	千丸 泰芽	どんぐりのなえ
和歌山県	私立智辯学園和歌山小学校	小2	中本 琉楓	まんまる
兵庫県	西宮市立南甲子園小学校	小3	大恵 朱実	命があるせき
兵庫県	私立甲南小学校	小4	井野上 碧泉	明子さんの命の音色から
和歌山県	私立智辯学園和歌山小学校	小4	成川 愛珠	おじいちゃんの命
大阪府	大阪府立大阪北視覚支援学校	小6	大坂 ひなた	生きのびること
大阪府	堺市立長尾中学校	中1	大石 美空	入院を通して考えた「いのち」
大阪府	私立箕面自由学園中学校	中1	櫻井 美羽	強くて脆い命
兵庫県	神戸市立鷹取中学校	中1	榑原 亜衣	忘れない。いつまでも...
京都府	京都市立久世中学校	中2	角村 桃奈	小さな命から考えたこと
京都府	京都市立修学院中学校	中2	酒枝 蒼空	リードの命
京都府	京都市立双ヶ丘中学校	中2	大橋 梨沙	生命の物語
兵庫県	私立関西学院中学部	中2	三木 煌太	タガメが教えてくれた命
兵庫県	私立小林聖心女子学院中学校	中2	鈴木 媛柚	その日は、突然やってきた
京都府	京都市立向島東中学校	中3	中西 創志郎	機械のいのち
大阪府	大阪教育大学附属池田中学校	中3	中村 咲陽	飛べない蝉

受賞者一覧 (敬称略)

★優良賞 (78名)

府県	学校名	学年	氏名	題名
滋賀県	草津市立老上西小学校	小6	数内 梨琴	私と命
滋賀県	大津市立石山中学校	中1	村上 佳帆	弟の生まれた日
滋賀県	大津市立北大路中学校	中1	紺田 響	命の価値観
滋賀県	大津市立北大路中学校	中1	宮越 花南	私にとつての「いのち」
滋賀県	竜王町立竜王中学校	中1	猫田 紗瑛	命へありがとう
滋賀県	大津市立石山中学校	中2	中村 睦仁	受け継がれてきた自分の命
滋賀県	彦根市立中央中学校	中2	松村 朋果	命の音
滋賀県	東近江市立聖徳中学校	中3	藤川 優月	いのちの光
滋賀県	竜王町立竜王中学校	中3	諸田 大晴	平和といのち
京都府	京都市立岩倉北小学校	小3	伊 智湖	命
京都府	京都市立太秦小学校	小3	長谷川 詩亜	「いのち」について
京都府	私立京都女子大学附属小学校	小3	小峯 れいあ	命をいただくこと
京都府	京都市立新町小学校	小4	ロー ナタリー	太陽よりも温かい「命」
京都府	京都市立仁和寺小学校	小5	石倉 里桜	命
京都府	精華町立精華台小学校	小5	藤田 愛実	妹が教えてくれた、かけがえない命
京都府	京都府立南陽高等学校附属中学校	中1	大森 志穂	いのちはほうき星
京都府	京都市立久世中学校	中1	丹光 心遥	たった一つのいのち
京都府	京都市立双ヶ丘中学校	中2	森 奈那	ねえ、今天国で幸せ？
京都府	京都市立双ヶ丘中学校	中3	宮本 紗有	青い鳥になりたい
大阪府	大阪市立榎並小学校	小1	久保毛 涼太	いのちのながさ
大阪府	私立関西創価小学校	小2	福田 幸恵	ミニトマトのいのち
大阪府	大阪市立苅田北小学校	小3	藤田 弥那	守るいのち、守られるいのち
大阪府	大阪市立平野小学校	小4	辻野 陽花	「命の大切さを知った食べ物」
大阪府	大阪市立矢田東小学校	小4	岩成 絢	命
大阪府	私立関西創価小学校	小5	池田 冠都	ホタルと命
大阪府	私立城星学園小学校	小5	申 莉寧	世界の飢餓をなくすには
大阪府	大阪市立玉川小学校	小6	村上 唯生	生きる意味
大阪府	私立大塚YMCAインターナショナルスクール	小6	呉 潤希	命のろうそく
大阪府	堺市立長尾中学校	中1	杉山 央音	忘れられない命
大阪府	堺市立浜寺南中学校	中1	笹倉 愛唯	天国と繋ぐ透明の糸
大阪府	私立箕面自由学園中学校	中1	細川 あい	虹の橋
大阪府	枚方市立枚方中学校	中2	三上 千鶴	頂きます
大阪府	八尾市立亀井中学校	中2	阪本 和音	今、ここにいるということ
大阪府	八尾市立亀井中学校	中2	高島 実蘭	手紙
大阪府	八尾市立亀井中学校	中2	辻井 凜	生きがい
大阪府	八尾市立亀井中学校	中2	松永 月彩	分からない未来
大阪府	八尾市立亀井中学校	中2	宮之原 芽	教えてくれたもの
大阪府	大阪府立箕面支援学校	中2	柳井 美緒	自分の人生は自分で切り開こう!!
大阪府	東大阪市立孔舎衛中学校	中2	寺内 ちほ葉	諦めるまでは終わっていない

府県	学校名	学年	氏名	題名
大阪府	東大阪市立孔舎衛中学校	中2	宮田 里彩	目に見えないもの
大阪府	大阪教育大学附属池田中学校	中3	田中 莉穂	いのちの意味
大阪府	大阪市立平野北中学校	中3	川田 優花	生きる意味
大阪府	吹田市立第一中学校	中3	篠原 里奈	涙が出る日
大阪府	八尾市立亀井中学校	中3	宮本 美憂	命へありがとう
兵庫県	神戸市立こうべ小学校	小3	榎本 阿紋	いのちについて
兵庫県	神戸市立湊小学校	小3	田原 和花	いのちの作文コンクール
兵庫県	加古川市立氷丘小学校	小3	豊田 美咲	一人一つかけがえないいのち
兵庫県	神戸市立福池小学校	小4	佐野 絢音	ロボットと人
兵庫県	神戸市立福池小学校	小4	寶角 太一	ぼくの好きなおばあちゃん
兵庫県	加古川市立氷丘小学校	小4	宮本 亘	「命」について
兵庫県	川西市立緑台中学校	中1	角南 美和	生きていく意味
兵庫県	私立関西学院中学部	中1	藤本 怜汰	命の尊さ・大切さ
兵庫県	私立小林聖心女子学院中学校	中1	神谷 彩	窮屈で自由な世界
兵庫県	私立夙川中学校	中1	石田 伊知香	キョーダイ
兵庫県	私立夙川中学校	中1	伊東 滯央	セミの一生
兵庫県	私立夙川中学校	中1	大西 彩葉	私の大切な命
兵庫県	私立夙川中学校	中1	後藤 楓華	小さな幸せ
兵庫県	私立百合学院中学校	中1	井本 千暖	人のぬくもり
兵庫県	尼崎市立小園中学校	中2	多々美 陽菜	死があるから、生が輝く
兵庫県	川西市立緑台中学校	中2	岸本 玲音	一人の兄が世界を変える
兵庫県	小野市立小野南中学校	中2	高田 友愛	入院の経験
兵庫県	私立関西学院中学部	中2	馬場 玲娃	残りの時間
兵庫県	私立小林聖心女子学院中学校	中2	木浦 衣央	人の命は地球より重い
兵庫県	私立小林聖心女子学院中学校	中2	中脇 あかり	失ってから学ぶ命の尊さ
兵庫県	神戸市立港島学園中学部	中3	香西 万桜	“自殺”について
兵庫県	姫路市立大津中学校	中3	小林 泉水	私のいのちは私のもの？
兵庫県	姫路市立東光中学校	中3	森 美翠	命の生き方
奈良県	私立近畿大学附属小学校	小1	田邊 愛季	わたしのたからもの
奈良県	香芝市立香芝東中学校	中1	兼村 羽月	雪山の「いのち」たち
奈良県	私立塚原山中学校	中1	河波 慶太郎	「生」も「死」も「いのち」
奈良県	奈良県立青翔中学校	中3	吉井 ほのか	生きていく
奈良県	大和郡山市立郡山西中学校	中3	藤森 美花	「いのち」の源
奈良県	斑鳩町立斑鳩中学校	中3	米倉 京香	生きる意味
奈良県	明日香村立聖徳中学校	中3	関本 希実	天国のお兄ちゃん
和歌山県	私立智辯学園和歌山小学校	小2	宮本 旬	はせ川さんとどくへび
和歌山県	和歌山市立川永小学校	小5	小原 海音	いのち
和歌山県	和歌山県立田辺中学校	中3	村上 実咲	いのち
和歌山県	田辺市立衣笠中学校	中3	野崎 心タ呂	たった一人の

金賞受賞作品

「ぼくのたいせつないのち」  
 大阪市立鷗野小学校 一年 丹羽郁登

ことしの冬、かぞくで、かきをたべました。口の中に、たねがのこりました。ぼくは、かきが大すきです。このたねを、うえたら、かきの実がたくさんできるかな。じぶんですだてた、かきの実はきつと、とってもおいしいぞとおもい、ペランダのうえ木ばちに、たねをうえました。お母さんは「めなんて、でてこないわよ。」といいました。それでも、ぼくは、うえました。

春になって、お母さんがペランダからぼくをよびました。「めがでてる！」ぼくは、びっくりしてみにきました。かきのめがでていました。かきのたねのかわをかぶったかわいかったです。かきのたねのかわは、すごいとおもいました。じぶん、うえたらたねがめをだして、うれしかったです。となりで、お母さんがいました。「いのちって、すごいね。かきの実はいっくんの体にはいって、いっくんのいのちになってくれた。かきのたねは、こうしてめをだして、また、実をつけて、だれかのいのちになるのかもしれないね。このめは、いっくんのそだてたいのちだよ。」ぼくは、早くかきの実を、たべたいとおもいました。かきの木が大きくなって、たくさんの実をつけたら、じいじやばあばにもあげたいとおもいました。おともだちやかぞくといっしょにたべたいです。ぼくのそだてた、たいせつないのちを、ぼくのたいせつな人たちに、わけてあげたいです。

金賞受賞作品

「ぼくのかぶと虫」

大阪市立堀川小学校 四年 刈部孝政

ぼくは二年生の夏、かぶと虫を育てました。おすだつたので、カブキと名前をつけました。

毎朝、ぼくは目が覚めるとカブキを見に行くのですが、その日はカブキの様子がいともちがつていました。さわつてもぴくりともしません。夜の間に死んでしまったのです。ぼくはせつかく大事に育てていたのに死んでしまつて、まるで大切な友達を失つたようなやるせない気持ちになりました。そんなぼくを見て、お父さんが、「ひょう本にしたらどう？」と聞いてくれたので、ひょう本を作ることにしました。ひょう本にしたらカブキとずつと一しよにいられる、ぼくはそう思いました。

ぼくは早速ひょう本作りを始めました。まずは固まつたカブキの体をえきにつけ、そつと足をひろげました。ひょう本にしてカブキはよろこぶかなあ、とまよいながら手を動かしていました。カブキをそのままの形で残すためには、カブキを虫ピンでさして固定しなければなりません。

でも、ぼくはかわいそうで出来ませんでした。まだたましいは残っていると考えたからです。もし、たましいが残っていたらきつと、虫ピンでさされたいと感じるだろうな。友達のように思っていたカブキにそんなことはできません。ぼくはカブキをひょう本にするのをやめました。

カブキは、よう虫のとき土の中にいたので、元いた場所に返してあげようと思いました。ぼくはカブキを家の近くの公園にうめに行きました。「安らかにねむれますように。ぼくはカブキのことをわすれないからね。また会いに来るよ。」と言つてうめました。

土の中にはカブキの仲間がいるかもしれません。仲間に出会えているといいなあと思います。

ぼくもときどき、その公園にカブキに会いに行つています。カブキは喜んでくれているといいなあ。

「私の生きた足跡」

姫路市立津田小学校 六年 玉田智愛

私にとつての生きた証は、お腹にある大きなきずあとです。これは、私が病気とたたかつた証でもあります。でも、プールや学校行事でおふるに入るとき、友達にこのきずを見せることには少し抵抗があります。それでも、私はこのきずがないと生きていかなかったからこのきずがとっても大好きです。

私は三才の時に「小児がん」と診断されました。病気になつて今年で八年が経ちました。それでも、まだまだ病気とたたかわないといけません。そのとき、まだ私は小さかったのであまり覚えていませんが、家族がそのときの話を、たくさんしてくれます。

病気が分かつたとき、がん細胞が大きすぎてすぐに手術できず、抗がん剤治りようをすることにになりました。その副作用はとてもすごく吐き気がしたりかみの毛もぬげ、全然ご飯が食べられなくなりまし。

月日がたち、やつと手術ができるようになり、初めての手術は12時間程度かかつたそうです。

そして、またあのつらい抗がん剤治りようが始まりました。ふつうの人では想像もできないくらいつらくて、しんどい治りようです。それでも私は絶対に病気に負けたくありませんでした。私の母は「あきらめたらそこで試合終了。」とよく言います。だから「あかん、今ここであきらめたら元気がなつてみんなと遊べない。」という思いがずつとあり、頭の中で自分が頑張れるように思っていたのを本当にかすかですが、うつつらと覚えていきます。家族も先生もたくさん応援してくれました。

私には病気になつたことよりも、つらい抗がん剤治りようを受けたことよりも一番いやだつたことがあります。それは、年に一度しかない誕生日が二年続けて手術になつたことです。正直、しないといけないと分かつていても一年に一回しかない誕生日になぜ辛いことをしないとイケないんだらうと思ひました。ふつうならケーキを食べてみんなでお祝ひする日なのになんで私だけ…とも思ひました。でも、今なら分かります。あのとき、こんな思いをして頑張つたからこそ、今生きられているということ。少しづつみんなと同じように学校に行つて遊ぶことができるということ。

小児がんという病気になつて、つらいことやいやなこと、お腹に大きな傷も残つたけど、学んだこともたくさんあります。私は、小児がんになつたけど、今は生きることが楽しくて、とっても幸せです。

金賞受賞作品

「命の重さ」

奈良県立青翔中学校 二年 小林 大悟

始まりは店で買ってきた一個の卵だった。重さは五十g。何の変哲もない一個の卵、これをふ卵器に入れる。ふ卵器のふたはいつも曇っていて、中は見えにくい。けれどその中で僕たちと同じ一つの命が、じわじわとはぐくまれている。  
有精卵を割る時、そして混ぜるとき、命を食べているんだ、いつも思う。  
約三週間後、ヒヨコが殻を破って産声をあげる。殻に穴を開け、小さな口をのぞかせヒヨヒヨと一生懸命息をし始めると、僕はいつもときどきする。  
二、三日すると羽も乾いて黄色や茶色のもこもこのかたまりになる。これがコケツと鳴きながら庭を駆け回る「鶏」になるのだからおもしろい。  
その成長は驚くほど早い。一瞬目をはなしてから見返すと、一まわり大きくなっていく気がする。大騒ぎの中、餌の世話、糞の処理、水の世話をして十六週間メスは「初卵」を産む。初卵は小さいが、ずっしりと重い。手のひらにのせると輝いてさえ見える。

オスは名前をつけない。朝早くに大声で鳴き始め、メスにとびかかるようになる。僕たちは丸焼きから揚げかの算段を始める。昔ほどの家も鶏を飼っていて、人が来るとさばいてふるまったものだ、と祖父が言う。

こうして残ったメスたちが毎日一個ずつ卵を産む。その数六羽、中雛たちが八羽。これから楽しみたいのしみ。

メスたちは卵を産まなくなっても飼いつける「家族」なので、名前が必要だ。最初の二羽はボリスブラウンにしては薄い色の、ちょうどカフエオレのような色合いだったので、「オレ」と呼ぶことになった。もう少し濃い方が「モカ」。今いる鶏の中の最年長になる。

少しモカの話しよう。モカはとても賢い鶏だった。オレは元気で食いし

ん坊。モカは何か怪しいもの、ヘビや猫が現れたら、必ず僕たちに知らせた。  
放鳥しても、夕方オレンジ色が山の向こうに消えるころには、必ず自分で小屋にもどっていた。  
でもモカはもういない。朝みたら六羽のうちモカだけがいない。  
ある日の夕方、放鳥していた鶏たちを小屋に仕舞った。家人はみな買い物に出かけ、僕の仕事だった。いつものようにみな小屋かその周りに集まっていた。仕舞うのは簡単だった。いつも一番最後まで外で遊びたがる若い「ソルベ」をつかまえて、扉を閉めて網をかけた。僕は、全員の数を数えなかった。この時からもうすでにモカはいなかったのかもしれない。それから、夜のうちに野生動物が忍びこんで、モカだけ連れ去ったのかも。網は破れていないし、羽も飛び散っていない。  
とにかくモカだけいない。僕は泣いて、泣いて、泣いた。僕の責任だ。僕が確かめなかったからだ。  
大事に卵から見守ってきた子が、夜の闇の中で悲鳴をあげていたかもしれない。何か悪いものが、モカを引き裂いたかもしれない。もっとよく確かめていけば・・・

何か月たっても、モカのことはいくらもきれない。朝も昼も夜も、窓の向こうの田んぼや森を眺めては、小さな姿が走って来はしないかと思っている。コトツと音がすれば飛び起きて、確かめもした。  
「モカなの？」

でも違った。モカは帰って来なかった。一度野良の鶏がいると聞いて見に行つたが、モカではなかった。だれか人間につかまって、そこでご飯と水をもらえていればいいのにも思った。または賢いモカのことだから、山の王のような強いキジかなにかの妻になつて子孫を増やしているかもしれないと思った。

僕の手のひらに乗っていた小さな卵は、二kgの立派な命になり、家族として毎日抱っこして可愛がった。でも、お別れは唐突だ。  
僕の心にも大きな埋まらない穴が開いた。命を扱うには覚悟が必要なのだろう。

保護者・学校関係者の声

- 息子は早速、来年度のテーマを考え出しています。娘も4月から一年生になるので、『私も金賞取る!!』と言って、表彰式の日に作文を書き始めていました。どんな作文になるのか楽しみです。
- 苦手の作文で、このような賞をいただけたことは、彼女の大きな自信になることと思います。お稽古の帰りにJRの駅でふと目に入ったチラシ、なにげなく手に取ったときから彼女の「挑戦」が始まりました。
- 家族一同、お知らせに驚きながら、大喜びをしております。娘がますます作文を書くことが大好きになりました。いつも自信がなさそうにしていた娘が、とても目を輝かせて喜んだお知らせです。
- 過去の作文もたくさん読ませていただきましたが本当に人のあたたかい気持ちがなにより人生で大切だと心から感じました。

その他: 詳しくはJR西日本あんしん社会財団のホームページをご覧ください。

<https://www.jrw-relief-f.or.jp/seminar/sakubun2020/>



# 2021年度AED訓練器等助成事業の助成先が決定

当財団では、「安全で安心できる社会」の実現に向け、2015年度より、救命処置の普及啓発活動に積極的に取り組む団体を応援するため、公募によるAEDトレーナーや訓練用人形を提供するAED訓練器等助成事業を実施しています。新型コロナウイルス感染症の影響により、講習会やイベント等の開催が難しい状況の中、救命処置の普及活動に対し意欲溢れる団体から応募をいただきました。2021年度は、以下のとおり9団体に提供しました。

団体名 [9団体] (50音順)	
<b>社会福祉法人 育伸会わんわん保育園 (大阪府城東区)</b>	大阪市城東区にある同保育園にて、いざという時に迅速かつ適切に命を救えるようにするため、有資格者が他の職員を対象に救命講習を行う等の活動を行っている。同職員や地域の住民等を対象に乳児の一次救命を中心とした救命講習会の開催を計画。
<b>エルコート小泉自主防災会 (奈良県大和郡山市)</b>	奈良県大和郡山市にある共同住宅にて、平常時より、要支援者などの把握、避難訓練、消防訓練を行う等の非常時に備えた活動を行っている。同居住者を対象に有資格者をはじめ、看護師や消防署職員等による救命講習会の開催を計画。
<b>神戸学院大学薬学部および薬学部ライフサポートチーム (神戸市中央区)</b>	神戸市中央区にある同大学にて、新入生に向けた実習や市民救命士講習会の開催のほか、神戸マラソン大会のAED隊ボランティアとしての活動等を行っている。同新入生を中心とした校内の学生等を対象に講習会の開催を計画。
<b>Japan Water Active Life-Saving Team (兵庫県伊丹市)</b>	伊丹市や川西市内等にて、人命救助・応急手当普及活動や、水難事故防止の普及・安全管理等の活動を行っている。一般の方を対象に救命講習会の開催や、地域イベント等でのブース出展による講習の開催を計画。 ※2019年度の助成に続き2回目の助成
<b>72時間サバイバル教育協会 (大阪府北区)</b>	大阪市内や近畿2府4県内にて、災害時に自ら考えて行動し生き抜く力を身につける、より効果的な講習等を行っている。青少年育成施設を中心に、施設関係者や一般の方を対象に講習会の開催を計画。
<b>平城地区防災士会 (奈良県奈良市)</b>	奈良市平城地区にて、同地区内のAEDマップ作成や防災訓練などにおける広報普及活動を行っている。自治会員や福祉施設、学校等の地域住民を対象に救命講習会や防災訓練の開催を計画。
<b>ポートアイランド住宅管理組合 災害対策委員会 (神戸市中央区)</b>	神戸市中央区にある共同住宅にて、全住民の安否確認訓練や、階段避難車や非常用発電機・衛星電話等を使用した訓練活動等を行っている。同居住者を対象に今後は子ども向け中心の講習会や消防署との防災訓練等の開催を計画。
<b>みんなで減災し隊! (兵庫県丹波篠山市)</b>	丹波篠山市等にて、人が集まる効果的な場所と機会を利用し、普及啓発に尽力した活動を行っている。スーパーや市民センターにおいて、一般の方を対象に救命体験会の開催を計画。 ※2020年度の助成に続き2回目の助成
<b>森ノ宮医療大学ライフサポート部 (大阪府住之江区)</b>	大阪府住之江区にある同大学内にて、同学生を対象とした救命処置の普及だけでなく、スポーツ大会のボランティア活動等を行っている。同学生や、大阪市内にある小・中学校の生徒、一般企業の社員を対象に講習会の開催を計画。

# 2021年度公募助成（活動及び研究）の助成先が決定

新型コロナウイルス感染症の影響により活動や研究に様々な制約がある中、活動助成49件、活動助成（特別枠）33件、研究助成41件の計123件のご応募をいただきました。

採択されました団体や研究者の方々57件の助成先の皆様をご紹介します。コロナ禍だからこそ、当財団もそれぞれの団体や研究者の方々へのご支援を通じ、より一層、安全で安心できる社会の実現へ向けて少しでも貢献していきたいと考えています。

## 【活動助成】事故、災害や不測の事態に対する備えに関する活動、発生後の心身のケアに関する活動

テーマ	団体名（50音順）
池田分かち合いの会・ひかりの活動	池田分かち合いの会・ひかり
こどもの心を守る「読み語り」の学び会	いじめから子供を守ろうネットワーク和歌山
子育て世代の防災支援活動	イタミライフキーパー
117KOBE ぼうさいマスタープロジェクト	117KOBE ぼうさいマスター育成会議
発達障がい児や子どもにもわかりやすい防災教育教材の作成	一般社団法人 ADI 災害研究所
大阪 YMCA ウォーターセーフティキャンペーン	公益財団法人 大阪 YMCA
新競技「救命の連鎖」で一次救命処置をもっと身近に！	学生チームあつこズ
グリーンケア	かなしみぼすと
災害時における障がい者支援技術の向上を目指して	環境リハビリテーション科学研究会
キッズ防災検定	特定非営利活動法人 検定協議会
きょうとこどもの城づくり事業（ひとり親家庭のこどもの居場所づくり事業）SKIP	久御山町母子寡婦（さつき）会
障害福祉・精神科医療等の支援関係者を対象としたトラウマについての研修	特定非営利活動法人 暮らしのコツ研究所
Tグループ（New Human Interaction Laboratory with T-group & Narrative Approach, 人間関係）研修を体験し自己を知る	認定NPO法人 国際ピフレンダーズ大阪自殺防止センター
こどもミュージアムプロジェクト	一般社団法人 こどもミュージアムプロジェクト協会
繋がるあんしん見守りプロジェクト	特定非営利活動法人 こもれび相談室
ドローンを用いた地域防災訓練の検証	NPO 法人 次世代エネルギー研究所
妊娠中・産後に赤ちゃんを亡くしたご遺族に関わる医療者向けグリーンケア啓発活動	周産期グリーンケアはちどりプロジェクト
「稲むらの火」から学ぶ防災～聴覚障害者の防災意識向上をめざす～	認定特定非営利活動法人 障害者放送通信機構
災害時における鍼灸・マッサージ活動のための支援情報共有 WEB ツールの作製	特定非営利活動法人 鍼灸地域支援ネット
女性への AED 使用率向上支援活動	進撃の大谷ガールズ
高齢者運転免許返納支援事業	特定非営利活動法人 全日本企業福祉協会
地域自主防災活動	西大久保団地自主防災会
たかつき川キッズ調査隊シーズン2 ～自分の命を守るためにできること～	特定非営利活動法人 ノート
市民災害支援組織構築事業	のまはら
Huuug なりきりステージ 3 匹のこぶた～防災教育～	一般社団法人 ハーグ
はすの会 東大阪・神戸の活動	はすの会
家具固定と震災後のトイレ問題、防災食紹介を重点にした防災普及と、防災を支える新たなコミュニティの形成	特定非営利活動法人 働く者のメンタルヘルス相談室
生と死を考える会全国協議会全国大会	兵庫・生と死を考える会
ビリーブメントケアチーム「ビリーブ」の活動	ビリーブメントケアチーム 「ビリーブ」

[33件]

## 【活動助成（特別枠）東日本大震災、平成30年7月豪雨（西日本豪雨）に関する被災地・被災者支援活動

テーマ	団体名（50音順）
西日本豪雨災害で被災した写真をお預かりし泥などを洗浄・乾燥・拭き上げ等行いお返しする活動	あらいぐま大阪
真備町写真洗浄@あらいぐま岡山	あらいぐま岡山※
のだ暮らし応援交流ツアー・夏（被災地での地域活性化ツアー）	大阪大学災害ボランティアサークルすずらん
真備町岡田地区の復興・防災まちづくり事業	岡田地区まちづくり推進協議会※
災害公営住宅からダイバーシティを目指すまちづくり計画イベント事業	一般社団法人 お互いさま・まびらボ※
被災者の心に寄り添うための心理理解・ボランティア継続のためのセミナー	特定非営利活動法人 オリーブの家※
東北被災地ふれあい語り部コンサート	NPO 法人 語り部おもちゃ箱音楽隊
真備町呉妹地区復興に向けた住民きずな事業	呉妹地区まちづくり推進協議会※
こどもスマイルミーティング	一般社団法人 こどもスマイルミーティング※
平成 30 年西日本豪雨災害で水害被害に耐えたビニールハウスの活用	特定非営利活動法人 こもれびの里※
子どもたち集まれ！豪雨に負けない心を育てる！	災害で生活が変わった子供を支援する会※
平成 30 年 7 月豪雨（西日本豪雨）を乗り越えた「地域の絆」を後世に繋ぐ～災害復興記録誌を通じた地域の防災力を高める創縁活動～	下原・砂古自主防災組織（下原復興委員会）※
東日本大震災の影響で関西に避難する被災者支援活動	チームおせっかい滋賀
倉敷市真備町の緊急救援活動及び、避難所・仮設への慰問ボランティアツアー その3	被災支援ボランティア団体「おたがいさまプロジェクト」
東日本大震災復興支援 三陸「笑い」の復興教室	門戸倶楽部
真備町箭田地区復興のための住民ふれあい事業	箭田地区まちづくり推進協議会※
いのちをつなぐお茶会サロン活動	若者活動サポートセンターあおぞら※

※印は近畿2府4県以外(岡山県及び広島県)に拠点がある団体

[17件]

## 【研究助成】事故、災害や不測の事態に対する備えや防止に関する研究、発生後の心身のケアに関する研究

テーマ	研究者名（50音順・敬称略）
救急小児アプリの普及並びに蓄積データの統計学的解析	大阪大学医学部附属病院 高度救命救急センター 特任助教 片山祐介
鉄道交通機関での応急救護体制と応急救護資器材の標準化に関する研究	京都橋大学 専任講師 北小屋裕
人工知能（AI）シミュレーションによる災害教育システムの構築～Post- コロナ時代における革新的災害教育開発を目指して～	大阪医科大学医学教育センター 副センター長 駒澤伸泰
メモリアル・ファッションの文化人類学的研究 ー衣服に見る記憶、慰霊、癒しー	国際ファッション専門職大学 教授 田中雅一
教職員による学校安全点検のプロセスを児童生徒が効果的に学習するためのプログラムの開発	兵庫教育大学大学院 学校教育研究科 教授 西岡伸紀
ネグレクト死亡事例における虐待親の認知要因についての研究	花園大学 教授 橋本和明
COVID-19 下の大学におけるハイブリッド型授業 ー障害学生への合理的配慮に焦点を当ててー	大阪大学 キャンパスライフ健康支援センター 相談支援室 助教 安永正則

[7件]

# 2020年度 第2回いのちのセミナー (ウェブにて配信)

配信期間 2021年3月23日(火)～6月30日(水) 14:00

新型コロナウイルス感染症の収束が見られないことから、引き続き「いのちのセミナー」をウェブにて配信することになりました。

## 繋がりの中で生きる

～修験道に学ぶ～



講師: 田中 利典氏  
総本山金峯山寺長 種智院大学客員教授

### 修験道とは

修験道とは日本古来の山岳信仰に様々な教えが合わさってできた独自の宗教であり、もともと日本にあった神道、そして外国から伝わってきた仏教や道教などが習合して成立した日本独自の民俗宗教と言われています。様々なものを認めてきた日本だからこそ生まれた信仰です。奈良県吉野にある金峯山寺はその修験道の聖地であり、私はその修験道、山伏の僧侶です。



### 山の宗教・山伏の宗教

山伏の名前は、山に伏し、野に伏して修行することに由来します。大自然を道場に、大自然に神・仏がおられることを前提に修行していく、いわゆる祈りの登山で、神や仏に対する畏れを持った、聖なるものに触れ合う、出会うという山修行の宗教。これが修験道です。その中心に、夏になると吉野から熊野に至る約 170 キロ

を1週間ほどかけて行ずる「大峯奥駈修行」という修行があります。朝 3 時ぐらいに起き、1日約 12 時間、1週間続けて歩きます。ただ歩くだけではなく、自然の中に神・仏がおられることを前提に、祈りながら、拝みながら行じていきます。

### 神仏習合の宗教・神仏混淆の宗教

修験道は八百万の神も八万四千の法門から生ずる仏も、分け隔てなく尊ぶ宗教です。日本には沢山の神様が存在しておられ、仏壇も神棚も持ち得るような日本人の根源的な祈りが具現化した宗教です。日本には元々神道という信仰がありましたが、6世紀の半ば、中国から朝鮮半島を経て仏教が伝わり、当初蘇我氏 vs 物部氏のような崇仏派と廃仏派との争いはありましたが、その後の 1,300 年間、日本では仏教の仏様と神道の神様は蜜月関係の夫婦の如く、仲良くしてきました。修験道というのは、まさにそこから生まれた宗教であり、仏教を父に、神道を母に、仲の良い夫婦の間に生まれた子どものような存在なのです。

### 実修実験・修行得験

これが最も修験道の大事な部分です。自ら修行することで、自ら「験力」「しるし」を得る宗教です。命綱も持たずに岩を登っていく、あるいは、滝に打たれるということもあります。自分の体を使って行ずる宗教なのです。山での修行では、「懺悔懺悔、六根清浄」という、山念仏、掛け念仏を唱えながら歩きますが、キリスト教では「ざんげ」、仏教では「さんげ」と唱えます。

六根とは、目、耳、鼻、舌、身、意であり、私たちが外界の世界を内に認識する入り口です。これを清浄することで、身も心も神・仏に清めていただく。そういうことを心に描きながら山を歩くわけです。1日12時間も歩きますと、いつの間にか心の中が空っぽになり、まさに神・仏に六根を清められたような、そんな気持ちになります。そのようなひとときを持つことが修験道の実践の世界です。人間は、心でもって心をおさめるのはなかなか難しいもので、体を使って何かをする中で心がおさまっていくということが沢山あります。山伏の修行というのは、まさに体を使って、何か自分の中に新しいものを生み、自然の中におられる神・仏の力によって自分の身と心が清められていく。そういう体験を通じて験力を体得していく世界なのです。

### 禁止された修験道

修験道というのは、明治になり受難の時代を迎えます。明治初年の神仏分離・神仏判然令に続き、明治5年には修験道廃止令が出され、修験道のお寺は廃絶するか神社に姿を変えることになりました。それによって現代において山伏は縁遠くなりました

が、能や歌舞伎には山伏は沢山登場しているのをみてもわかる通り、明治までは皆さんの身近に山伏がいたということです。

### 山伏の効用

山伏の修行には、「擬死再生」という、一度死んで生まれ変わるという意味があります。例えば、奥駈修行では1週間ぐらい山に入り、1日10時間以上歩き、本当に苦しい体験をします。自分の中で一度何かが死んで、新しい自分が生まれ変わることを感じるわけです。また、山伏の教えの中で、死に習うということをよく言います。死に習うというのは、死を意識して生きるというような意味です。物事というのは、止まったときに初めて本質が見えるものです。動いている間はわからない。生きるということも同じで、生きている間は生きる本質を見つめ直すのは難しい。しかし死んでからでは遅い。死に習うということは自分の死を意識して生と向き合うことを言います。それを実践しているのが山伏の修行なのです。また、山伏の修行は、山の行より里の行ということをよく言います。これは山で修行をした力を里で生かすことを意味します。山で修行した力を里に下りて生かすこと、つまり山で体験した擬死再生の修行を日々の生活の中で生かすことが大切なのです。

### 修験道に学ぶ

山の修行中に般若心経というお経を上げていますと、私の前に小さなアオムシが大木の下から上へ登っていく姿が目に入りました。お経の間ずっとそのアオムシを見ていますと、ふと、このアオムシは前世の私だと感じました。このアオムシだった私と、今の私はどこかでつながっているなということ、山の修行の中で感じるがありました。またあるときは、雨中での修行中、この降っている雨、雨を降らせている空、雨を受けている私、雨を受けている草・大地は全部つながっている。私の周りの世界は全部私とつながっていると、そんな気持ちが起こってきたことがありました。あらゆるものとつながっている安心感みたいなものを、山の修行で感じたわけです。

生きる本質とは、実は、様々なものとのつながりの中にあるということが、私は大事だと思います。「つながり」の側に本質がある。たとえば夫婦という本質は、主人側にも奥さん側にも本質はなく、つながりの側に夫婦の本質がある。あるいは、親子も、親子というつながりの中に本質がある。我々はどうしても、それぞれの側に本質があるかと勘違いしますが、つながりの中にこそ物事の本質があり、つながり合う中で私たちは生きているわけです。私は山の修行の中で、大きな命、大きな宇宙、大きな自然とつながっているという体験を通じて、すごく安心するという実感を持ちました。つながり合う中に物事の本質があることを学んだとき、生きていることがすごく楽になりました。現代社会は様々な問題を抱えており、様々な問題が孤独な自分、孤独な生をつくってしまう傾向がありますが、つながっているということ、あるいはつながりの側に本質があるということ、あるいはつながりにくいのではないのでしょうか。つながり合う中に生きていると思ったとき、私たちの「いのち」というものは、もっと緩やかに、

また、温かくなるのではないかと思います。

### 結びとして

現在、世界中が新型コロナウイルス感染症に苦しんでおります。この感染症に打ち勝つ方法は2つあり、1つは感染しないこと、感染させないこと。もう1つは感染しても負けないこと。それには宗教的な生活がとても大事であると思っています。自分だけが助かる、自分だけがよいということではなく、皆が助け合う、皆が健康で幸せで生きることを願うということです。“皆で”打ち勝つていかないと、感染症というのはなくならないわけです。そうすると、皆で幸せになっていこう、皆で負けないでいこうということ、祈り合う。この祈りの心を持つことであり、自分だけの利ではなく、他人の利益、他人の利を願っていくことがとても大切なのではないのでしょうか。私も去年の4月から、疫病退散、万民安楽のお祈りを正午の祈りとして行っています。これは東大寺さんを中心に、私どもの金峯山寺、高野山金剛峯寺、あるいは神社さん、キリスト教の教会の方も一緒になり、場所は違いますが「時」と「心」を同じくして、皆がコロナの苦しみから、疫病の苦しみから救われるよう、これ以上苦しいことが起こらないよう、疫病退散のお祈りを行っています。コロナによる分断に打ち勝つには、皆がつながっているということ、祈りの中でつくっていくことが大事なのではないのでしょうか。「繋がりの中に生きている自分の『いのち』への向き合い」、これこそが、山伏修行の中で、私を感じたもの得たものなのであります。



このセミナーは  
当財団ホームページにて配信

配信期間: 2021年3月23日～6月30日

いのちのセミナー

検索



## ホームページに助成先活動紹介ページを新設

当財団が助成を行っている団体の取り組みをご紹介します。ページを新設いたします。

今後、助成先の皆様の活動の様子を随時掲載していく予定です。公開まで楽しみにお待ちしております。



▲新設バナーイメージ

助成先の皆様の活動をタイムリーにお伝えしてまいります!



▲新設ページイメージ

## ポスター・リーフレット設置箇所のご案内

当財団では、各種ポスターやリーフレット、広報誌「Relief」等を専用の掲示板に設置しています。お近くの掲示板を是非チェックしてみてくださいね。

- JR京都駅 …… 2F西口改札出て左側「みどりの窓口」前（南北自由通路）
- JR新大阪駅 …… 3F東出口 付近（駅構内）
- JR大阪駅 …… ①1F中央口 改札付近 ②3F連絡橋口 改札付近（駅構内）
- JR尼崎駅 …… 西改札口内コンコース「7・8番のりば」エレベーター前（駅構内）
- JR三ノ宮駅 …… 西口改札 自動券売機前
- JR神戸駅 …… ビエラ神戸口 自動券売機横
- JR伊丹駅 …… 改札内口コンコース
- JR川西池田駅 …… 改札口を出て右ななめ前
- JR宝塚駅 …… 改札口横（「セブンイレブン キヨスクJR宝塚駅 改札口店」前）
- JR三田駅 …… 改札口内コンコース
- JR京橋駅 …… 北口 改札付近
- JR鶴橋駅 …… 大阪駅方面（内回り）ホームに上がる階段付近
- JR天王寺駅 …… 中央口改札を出て右へ、駅長事務室前



## Facebook いいね! 👍 をお待ちしております!

当財団の催し等をFacebookでも随時お知らせしています。

下記QRコードからご覧いただけます。皆様からのたくさんのいいね! 👍 をお待ちしております!



アンケート実施中

毎号、皆様からご好評いただいておりますReliefにつきまして、いつもご感想をお聞かせくださり、ありがとうございます! 今号についてのご意見やご感想もお待ちしております。

(<https://www.jrw-relief-f.or.jp/enquete/>)



### 編集後記

コロナ禍で事業運営がままならず、助成先の活動訪問でのみなさんの笑顔やセミナーでの会場の一体感など、あたり前があたり前でない一年でした。その中で、セミナーの録画配信、オンラインでの公募助成の活動発表会や作文コンクール表彰式など、新しくチャレンジできたこともありました。これからも頑張っていきます。(ひでお)

### 広報誌「Relief」 2021年4月号(vol.42)

広報誌「Relief」は、年2回発行しています。

Relief(リリーフ)には「ほっとする、安堵。安心」といった意味があります。

JR西日本あんしん社会財団は、福知山線列車事故の反省の上に立ち、設立されました。

「安全で安心できる社会」の実現に少しでもお役に立てるよう、事故や災害等で被害に遭われた方々の心身のケアに関わる事業や、地域社会の安全構築に関わる事業などに取り組んでいます。

編集発行/公益財団法人JR西日本あんしん社会財団

〒530-8341 大阪市北区芝田二丁目4番24号 TEL:06-6375-3202 ホームページ:<https://www.jrw-relief-f.or.jp/>



ホームページ



Facebook

